

緩和治療科コラム

2. 麻薬(3) 制吐剤の問題点 緩和治療科 科長 山川 宣

「麻薬をはじめるときには、制吐剤を併用」、現在ではこの常識は覆っています。大きな理由は制吐剤の副作用です。プロクロルペラジン（ノバミン®）や、メトクロプラミド（プリンペラン®）が有名ですが、メトクロプラミドはやや力不足で、プロクロルペラジンが頻用されていました。しかしこれは立派な抗精神病薬で、錐体外路症状のリスクがあります。

緩和ケア病棟に転院、寝たきりで無言、衰弱しきったと思われた患者さんが、プロクロルペラジンの中止でみるみる改善、ニコニコと歩くようになった症例もあります。

アカンジア（静座不能症）は更に悲惨な錐体外路症状の一部で、難治性となったり、自殺の原因ともなります。さらに、軽度の錐体外路症状が嚥下障害で発症、誤嚥性肺炎により死亡率が高まってしまうことが指摘されています（認知高齢者への抗精神病薬のFDA 警告）。また予防的な制吐剤の効果に疑問が生じています。

制吐剤のリスク・ベネフィットのバランスから、北米ではメトクロプラミドは12週以内、欧州では注射は5日以内とされ、あるいは化学療法時の小児への制吐剤に推奨されないなど、日本では考えられないほど厳しい制限となっています。

これらから、制吐剤の使用を必要最小限とし、漫然と継続しないことが求められています。

Information

週末入院のお知らせ

糖尿病・代謝内科では、従来より約2週間の教育入院を実施しておりましたが、より症状の軽い方、糖尿病の初期の方、仕事などを理由になかなか入院できない方を対象に、土日を利用した3泊4日の「週末短期パス」（金曜日に入院して月曜日に退院する）を作成しました。対象の患者様がいらっしゃいましたら、ご紹介の程よろしくお願い致します。

- 入院中にできること（例）
- ①カロリー調整食を摂取できる。
 - ②体組成測定ができる。
 - ③教育用DVDを視聴できる。
 - ④血糖変動検査（リブレプロ）・蓄尿検査ができる。
 - ⑤自身の「糖尿病」と向き合うことができる。

神経内科標ぼう変更のお知らせ

患者さんの利益と日本神経学会の方針を鑑み、2019年4月1日より、当院「神経内科」は「脳神経内科」に標ぼう変更いたします。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

全館停電のお知らせ

2019年4月27日（土）に、医療機器の点検に伴い、当院は全館停電となります。それに伴い、検査、手術等の診療機能に制限がかかりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。詳細は当院代表（078-261-6711）にお問い合わせください。

Medical News

2019年4月
Vol.142

Shinko Hospital

Contents

- 特集
泌尿器科紹介
- 開業医探訪
- 緩和ケアコラム
- インフォメーション

■神鋼記念病院理念

公益性を重んじ、質の高い医療を通して皆様に愛される病院を目指します。

■基本方針

1. 快適な医療環境と医療設備を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 患者さんの人格や価値観を尊重し、プライバシーを守ることを約束します。
3. 断らない救急医療を目指し、地域社会の信頼と期待に応えます。
4. 地域の医療機関や行政との連携を密にし、切れ目のない医療サービスの提供に努めます。
5. 高い医療技術を持った人間性豊かなスタッフを育成します。

社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
TEL:078-261-6711（代表）
FAX:078-261-6726
URL: <http://www.shinkohp.or.jp>
発行責任者：理事長 山本 正之
編集責任者：神鋼記念病院広報委員長 山神 和彦

講演会などの
詳しい情報はこちらから!!

<http://www.shinkohp.or.jp>

神鋼記念病院 Medical News 2019

4

特集 泌尿器科紹介

泌尿器科 部長 山下 真寿男

当院泌尿器科の特徴

泌尿器科領域の疾患に対する外科的治療を中心に薬物療法などを行っています。

対象疾患は膀胱がん・前立腺がん・腎がん・腎盂尿管がんなどの悪性腫瘍：前立腺肥大症・副腎腫瘍・後腹膜腫瘍などの良性腫瘍：尿管結石・腎結石・膀胱結石などの尿路結石：膀胱炎・腎盂腎炎・前立腺炎・精巣上体炎などの尿路性器感染などの後腹膜臓器疾患です。

所属医師

当院泌尿器科は現在5人の体制で診療を行っております。（表1・2019年2月現在）

診療科長・部長・医長・医師・専攻医の構成となっております。

〔表1〕 泌尿器科医師（2019年4月現在）

山下真寿男	部長	昭和59年弘前大卒
結縁敬治	部長	平成元年神戸大卒
安福富彦	医師	平成13年徳島大卒
植木秀登	医師	平成26年富山大卒
高橋昂佑	専修医	平成27年滋賀医大卒

診療の基本方針

膀胱がん・腎がん・前立腺がん・腎盂尿管がん・後腹膜悪性腫瘍などの泌尿器科領域悪性疾患に対する手術・抗がん化学療法などの薬物療法を積極的に行っています。

副腎腫瘍などの泌尿器科領域の良性腫瘍に対しても内視鏡手術を積極的に行っています。

可能な限り腹腔鏡下手術など低侵襲な手術を行っています。

前立腺肥大症に対する加療も多くの症例に行っています。薬物療法と手術です。手術はほとんどがホルミウムレーザー核出術（HoLEP）です。開放手術は行っていません。経尿道的切除術（TURP）も組織採取の方法として年に1-2例行うことはあっても、肥大症状の改善目的とした手術としては行っていません。

結石に対する治療も内視鏡手術を中心に行っています。（表2）

男性不妊症・性機能障害・小児泌尿器科などは原則としては診療を行っていません。また、慢性腎不全・腎炎などの疾患も当院泌尿器科では取り扱っていません。

外来診療

月曜日から金曜日まで毎日外来診療を行っています。木曜日は1診ですが他の曜日は2診です。原則予約制で、新患は地域医療連携室を通して予約していただくシステムとなっています。初診予約は担当医あてとさせていただきます。

(表2) 主要手術実績

手術名	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
膀胱全摘	15	8	7	8	7	4	5	5	4	5
(新膀胱造設)	10	6	7	3	1	3	2	3	2	0
(尿管皮膚瘻)	5	0	0	2	5	1	1	1	0	0
(回腸導管)	0	2	0	3	1	0	2	1	3	6
TURBT	134	127	131	140	139	159	109	162	143	135
前立腺全摘(開放手術)	62	36	48	36	37	33	26	5	1	0
前立腺生検	199	225	217	217	203	190	187	155	1680	149
根治的腎摘	5	5	4	2	1	1	1	1	0	0
腎臓全摘	4	1	1	1	2	1	1	1	1	0
腎部分切除術	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
体腔鏡下腎摘除術	4	20	9	14	14	14	21	15	8	13
体腔鏡下腎尿管全摘除術	10	9	13	6	15	14	12	16	8	7
体腔鏡下腎部分切除術	0	0	6	5	7	11	4	6	10	0
体腔鏡下副腎摘除術	1	1	0	3	1	6	2	0	6	9
体腔鏡下腎盂形成術					1	0	0	0	0	0
体腔鏡下膀胱全摘除術						1	1	0	0	0
前立腺全摘(ロボット支援)	0	0	0	0	0	0	2	39	46	55
腎部分切除術(ロボット支援)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10
膀胱全摘除術(ロボット支援)										0
腹腔鏡手術	15	30	28	28	38	46	42	76	79	94
高位精巣摘除術	1	3	1	5	6	7	5	3	6	1
TURP	36	25	9	2	2	1	1	1	1	1
前立腺皮下摘除術	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Holep	0	15	32	66	92	60	89	78	80	57
ESWL	49	46	29	38	37	17	21	20	17	24
TUL	3	26	29	34	60	56	52	67	61	44
f-TUL						22	24	30	22	23
膀胱水圧拡張術				9	3	8	11	5	5	0

ります。希望医師を指定されますと初診の日程が遅くなるため、この方法を取らせていただいています。

手術等週間スケジュール

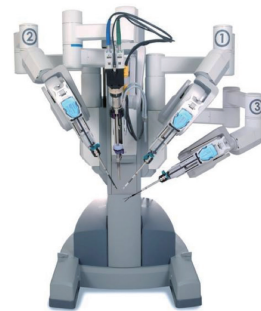
外来担当と曜日別業務を示しています。(表3)
火曜日から金曜日までは麻酔科管理の手術が可能です。後述するダ・ヴィンチ手術(ロボット支援腹腔鏡下手術)は、当科では火曜日(第1・3・5週目)と水曜日・木曜日となっています。

ロボット支援手術(ダ・ヴィンチ) (図1)

当院においては2015年11月よりダ・ヴィンチ手術(ロボット支援腹腔鏡下手術)を導入開始しました。当初は前立腺がんに対する全摘除術のみ行い、引

き続き腎がんに対する腎部分切除術を2017年12月より導入しました。いずれのダ・ヴィンチ手術も保険収載後ではありましたが、当院倫理委員会の承認などの手続きののちに行っております。2019年2月までにロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術は150例、ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術は13例を実施しています。

(図1)



ダ・ヴィンチ手術用ロボット 外観

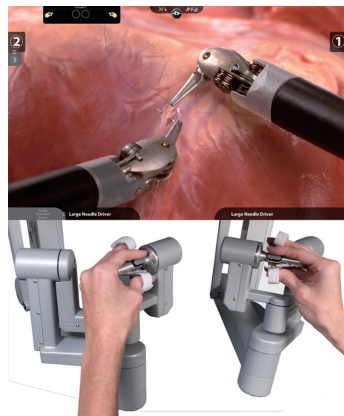
(表3) 外来担当表 (2018年4月現在)

泌尿器科外来担当表					
	月	火	水	木	金
1診	山下	結縁	山下	交替制	結縁
2診	高橋	植木	安福		安福
手術	結縁 安福 植木	山下 安福 高橋	結縁 植木 高橋	山下 結縁 安福 植木 高橋	山下 植木 高橋
術式	TURBTなど (腰椎麻酔)1件 (各科管理)	RARP・RAPN 腹腔鏡手術 HoLEP TUL	RARP 膀胱全摘 腹腔鏡手術 HoLEP TUL	RARP・RAPN 膀胱全摘 腹腔鏡手術 HoLEP TUL	腹腔鏡手術 HoLEP TUL TURBTなど (腰椎麻酔)
行事	カンファレンス 毎週16時頃 より回診	回診 夕方(手術・ 外来終わり次第)	回診 夕方(手術・ 外来終わり次第)	回診 夕方(手術・ 外来終わり次第)	回診 夕方(手術・ 外来終わり次第) 診療会議 毎月最終金曜日

※担当は変更となる場合があります。



ダ・ヴィンチロボット手術器械



ダ・ヴィンチロボット手術コンソール画像と手元

前立腺がんのセンチネルリンパ節同定の試み

センチネルリンパ節とは、悪性腫瘍病巣などの局所から流れ出たリンパ液が最初に入り込むリンパ節のことです。このリンパ節に転移がなければそのほかのリンパ節に転移がない可能性が高いという事が示唆されており、適正なリンパ郭清の確立に有用と考えられています。

この方法は、保険収載もされているセンチネルリンパ節同定に関して泌尿器科領域の悪性腫瘍に関してはいまだに確立されていません。当院では前立腺がんに対して ICGを術前に前立腺に注入し、術中に特殊な観察用のカメラで観察するという方法でセンチネルリンパ節の同定を試みています。開放手術における手技より始め、ロボット支援腹腔鏡下手術に移行してからも継続して行っています。いまだ確立はされていませんが一定の方向性は見だせていると考えています。前立腺がんのリンパ節郭清時の同手技は保険収載されておりません。当院倫理委員会の承認を受けており、そのうえで患者様の同意を得て行っております。

腹腔鏡手術

ロボット支援腹腔鏡下手術は前立腺がん・腎がんに対する腎部分切除術に当科疾患では限定されており(膀胱がんに対する膀胱全摘除術も保険収載となりましたが当院では施設基準を満たして

いないため現在準備中です)、その他の腫瘍に対する手術の多くは腹腔鏡で行っています。腎がんに対する腎摘除術・腎盂尿管がんに対する腎尿管全摘除術・副腎腫瘍に対する副腎摘除術などです。当院の泌尿器科医師5人のうち2人が日本泌尿器内視鏡学会・日本内視鏡外科学会の腹腔鏡技術認定を有しており、腹腔鏡手術の技術には高いものがあると自負しております。

内視鏡手術

膀胱がんに対する経尿道的手術(TURBT)は年間100例以上行っております。多くは腰椎麻酔で行っています。前立腺肥大症に対するホルミウムレーザー嚥出術(HoLEP)は2011年8月にレーザー装置を導入。(図2)以後は県下随一の症例数を行っています。当手術の難点である術後尿失禁についても、以前より発症率の少ない方法を随時取り入れて行っております。

腎結石・尿管結石・膀胱結石に対してもほとんどがレーザー使用の内視鏡による手術を行っています。(TULなど)

開放手術

現在のところ膀胱がんに対する膀胱全摘除術は開放手術で行っております。尿路変更の新膀胱造設術は当院が本邦で最初に始めた施設であり、現在まで多くの症例数を行いその成績も良好なものです。近年は同様の手術を行う施

(図2) ホルミウムレーザー本体



設も増えており当院での症例数は減っていますが技術的には他施設に勝るとも劣らないものと考えています。基準を満たした次第膀胱全摘除術もロボット支援腹腔鏡下手術に移行する予定です。

抗がん化学療法(入院・外来)・ホルモン療法

膀胱がん・前立腺がん・精巣がん・腎盂尿管がんなどの当科関連悪性腫瘍に対する抗がん化学療法も積極的にを行っています。初回治療は副作用の把握目的・安全確保のために入院加療となることを基本とし、2回目以後は可能な限り外来での通院加療を行っています(外来化学療法室で)。前立腺がんに対するホルモン療法も通院加療で行っています。LHRH皮下注射は外来処置室で行っています。

以上、泌尿器科分野での当地域での診療をリードすべく、さらに質の向上を日々努めてまいります。より一層のご支援を賜れば幸いです。今後ともなにとぞよろしく願いいたします。

開業医探訪

Vol.44 谷尻医院



今回の開業医探訪は、阪神御影駅南へすぐにあります「谷尻医院」へお伺い致しました。

— 診療を開始されてどれくらいになりますか？

昭和23(1948)年、御影にて開業しました。昭和56(1981)年より現在の場所で診療をスタートし、71年目に入りました。現在、3代目院長を中心に診療しています。

— どのような患者さんが来院されますか？

周辺は阪神大震災を契機に大きく様変わりしました。世代交代が進み、若い方々が多く住まれるようになりました。院長が呼吸器専門ということもあり、若年層で呼吸器疾患を抱えた方が多いです。また、長年診療していることもあり、2世代、3世代で受診される方も多いのが特徴です。そして、初代院長

より行ってきた往診も引き続き行っています。

— 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

本人だけではなく家族とのつながりも非常に重要と考えています。病気を見落とさず、適切に治療を行うことや病状に応じて病診連携を行っていくことはもちろんですが、家族の様子や病気についても気軽に相談できるような雰囲気作りを大切にしています。

— ひとこと

この地域で長年診療してきたこともあり、だんじり祭をはじめ地域の皆様と交流する場面が多々ありました。引き続き地域に密着し、住民の健康をサポートできる医院でありたいと考えています。また、介護領域との関わりがますます重要となりますので、多職種との連携を密に図ってまいります。

谷尻医院

〒658-0046 神戸市東灘区御影本町4丁目10番6号
TEL: 078-851-3439

院長: 谷尻 力 医師: 谷尻 仁

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00 (受付: 8:30~11:30)	○	○	○	○	○	○	/
在宅診療(往診) 14:00~16:00	※	※	※	/	※	/	/
16:30~18:30 (受付: 16:30~18:00)	○	○	○	/	○	/	/

休診 木曜午後、土曜午後、日曜日、祝日